

7. 図書館関連

目次

7. 図書館関連	1
7.1 開館時間について	1
7.2 蔵書について	3
7.3 設備について	6
7.4 すずかけ台図書館について	7

7.1 開館時間について

提言概要	開館時間の延長について																				
学生の意見	<p>開館時間の延長に関する要望が合計 65 件寄せられました。</p> <p>特に夜遅くまで（あるいは 24 時間）開けて欲しいという意見が 29 件寄せられました。その多くは自習のためのスペースが欲しいということです。</p>																				
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・夜遅く（11 時等）まで開けて欲しい（同様の意見 18 件） ・24 時間利用できる学習スペースが欲しい（同様の意見 11 件） ・夏季、冬季休暇中の開館時間を延長して欲しい（同様の意見 3 件） 																				
現状分析	<p>参考までに本学と他大学の附属図書館の開館時間を比較すると以下のようになります。（通常授業期）</p> <table> <tr> <td>東京工業大学</td> <td>平日</td> <td>8:45-21:00</td> <td>休日</td> <td>11:00-17:00</td> </tr> <tr> <td>東京大学</td> <td>平日</td> <td>8:30-22:30</td> <td>休日</td> <td>9:00-19:00</td> </tr> <tr> <td>一橋大学</td> <td>平日</td> <td>8:40-22:00</td> <td>休日</td> <td>8:40-17:00</td> </tr> <tr> <td>東京理科大学</td> <td>平日</td> <td>9:00-22:00</td> <td>休日</td> <td>11:00-19:00</td> </tr> </table> <p>現在、本学では試験期間およびその前一週間は開館時間の延長が行われています。しかし、試験期間のみではなく、授業期間中や長期休暇中も図書館を利用して学習を行いたいという学生が多くいます。</p> <p>図書館へのキャンパスミーティングで開館時間の延長について聞いてみたところ、平日に関しては現在の開館・閉館時間の周辺では利用者も多くはなく、開館時間の延長にかかる費用と合わせて考えると難しいとのことでした。24 時間開館に関しては、安全管理の問題や学生の生活習慣への懸念から同様に難しいようです。ただ図書館としては学生の要望には応えていきたいので、十分に多くの学生が望むのなら開館時間の延長については検討するという事です。</p>	東京工業大学	平日	8:45-21:00	休日	11:00-17:00	東京大学	平日	8:30-22:30	休日	9:00-19:00	一橋大学	平日	8:40-22:00	休日	8:40-17:00	東京理科大学	平日	9:00-22:00	休日	11:00-19:00
東京工業大学	平日	8:45-21:00	休日	11:00-17:00																	
東京大学	平日	8:30-22:30	休日	9:00-19:00																	
一橋大学	平日	8:40-22:00	休日	8:40-17:00																	
東京理科大学	平日	9:00-22:00	休日	11:00-19:00																	



7. 図書館関連

<p>学勢調査 2010 以前との比較</p>	<p>前回と図書館の利用目的に大きな変化は見られず、図 7.1-2 のように 6 割は図書の利用、3 割は自習スペースの利用を目的としています。また、前回は自由記述で開館時間の延長の要望が挙がっています。</p>
<p>提言</p>	<p>図書館という資料が十分に揃っており、落ち着いて勉強に集中できる場所は学生の学力向上に必須です。そのような環境を少しでも長く提供できるように、学生の利用状況等を考慮の上で平日・休日ともに図書館の開館時間を延長することを提言します。</p>

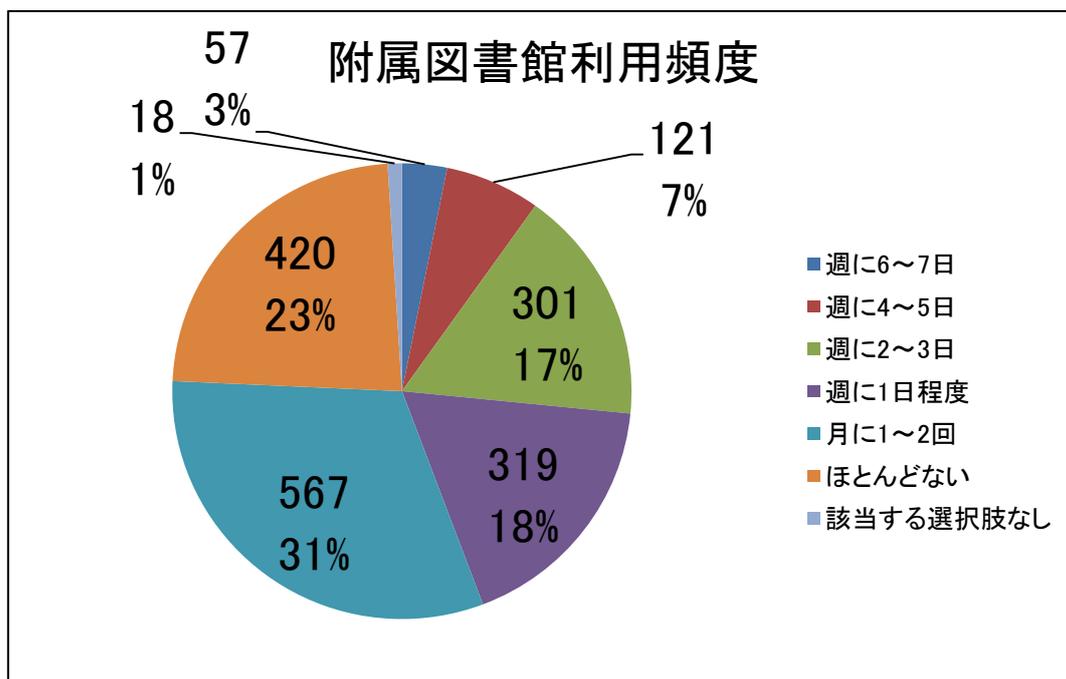


図 7.1-1 附属図書館利用頻度



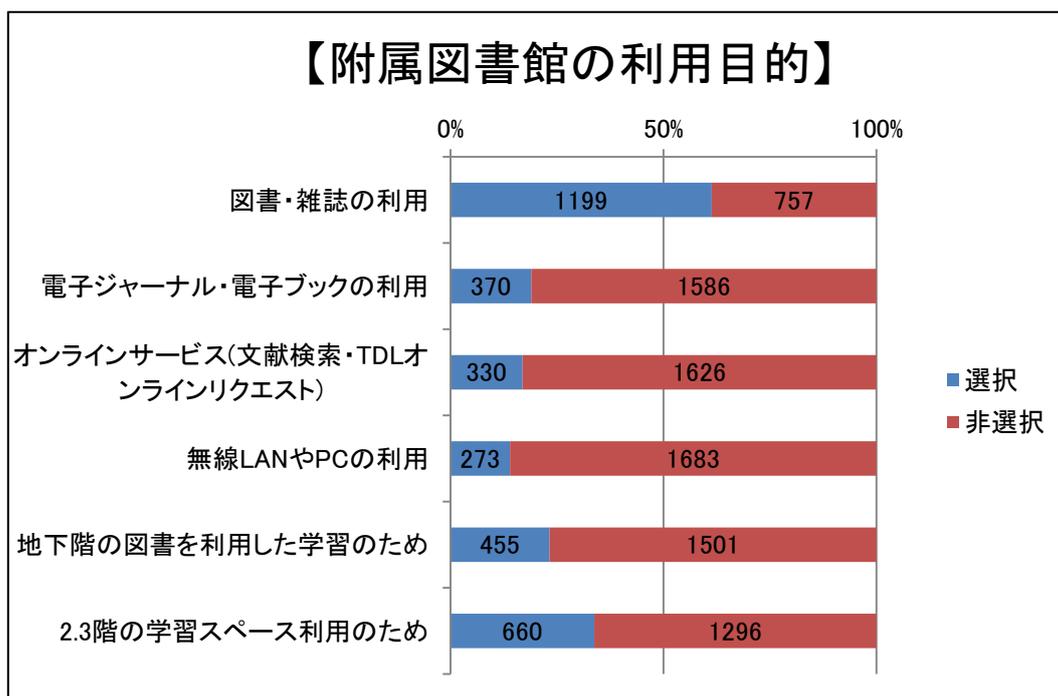


図 7.1-2 附属図書館の利用目的

7.2 蔵書について

提言概要	蔵書の拡充について
学生の意見	<p>図 7.2-1 (充実させてほしい資料) のように参考書・専門書の拡充を求める声が多く最も多くなっています。蔵書の拡充に関する要望は自由記述で合計 142 件寄せられました。理工系の専門書に関する意見が 17 件寄せられ、置いてあるものが古い、特定の分野の物が少ない等の意見がありました。</p> <p>自由記述で多くみられた意見として、文系図書を増やして欲しいという意見が 90 件、中でも小説や文学作品に関する意見が 44 件ありました。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・近年出版された専門書が少ない気がするので、最新のものを置いて欲しい (同様の意見 5 件) ・生命理工学系、宇宙論、物理、地学、有機化学の専門書が少ないので置いて欲しい (各 1 件) ・普通の小説や文学作品をもっと置いて欲しい (同様の意見 20 件) ・新書や文庫本、ビジネス書など (ベストセラーとなっている作品) も置いて欲しい (同様の意見 14 件) ・文系の専攻や授業をサポートする書籍を置いて欲しい (同様の意見 8 件)



7. 図書館関連

現状分析	<p>参考書や専門書は多く置かれていますが、さらなる拡充を求める声が多くあります。学部生は学習に用いる参考書、大学院生は研究に用いる専門書を必要としており、特に専門書については自由記述からもさらなる充実が求められています。</p> <p>理系図書に比べて文系の本、文庫や新書、文学作品等は少なく感じられます。本学には社会工学専攻や価値システム専攻など文系的な素養も重要となる専攻もあり、また文系の授業も増えてきているため、そのような専攻・授業をサポートするためにも文系書の充実が必要です。また、理系専門書は時間と共に内容が古くなります。最先端を研究する本学学生のために常に新しいものを取り入れていく必要があります。</p> <p>図書館へのキャンパスミーティングで蔵書の拡充について聞いてみたところ、現在、図書の購入方法には①教員の推薦②学生からのリクエスト③図書館職員による選定の3種類があるそうです。学生からのリクエストは、図書館のオンラインサービスや受付にあるリクエスト用紙にて受け付けているそうです。本学の附属図書館は、市区町村の図書館には置いていない理系専門書の充実を第一と考え本を購入しているため、文庫本や新書等は予算の関係もあり充実させるのが難しいようです。</p>
学勢調査 2010 以前との比較	<p>前回と大きな変化はなく、理系参考専門書の充実を求める声が一番多く、その次に多いのは文系図書を求める声となっています。</p>
提言	<p>学生の教養を深めるためにも文系書の拡充は必要です。著名なものだけでも文系書の拡充を提言します。また、理系専門書は他に頼りとする図書館もないため、より一層の充実が必要です。</p> <p>学生側も、置いてほしい本があれば積極的にリクエストをしてみてもうでしょうか。</p>



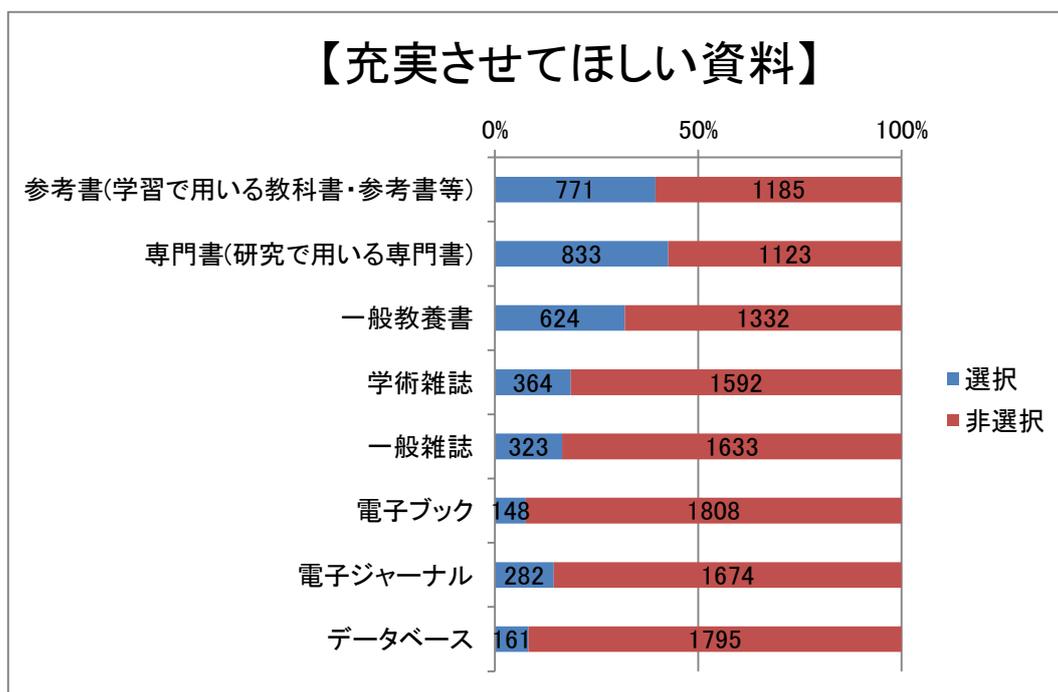


図 7.2-1 充実させてほしい資料

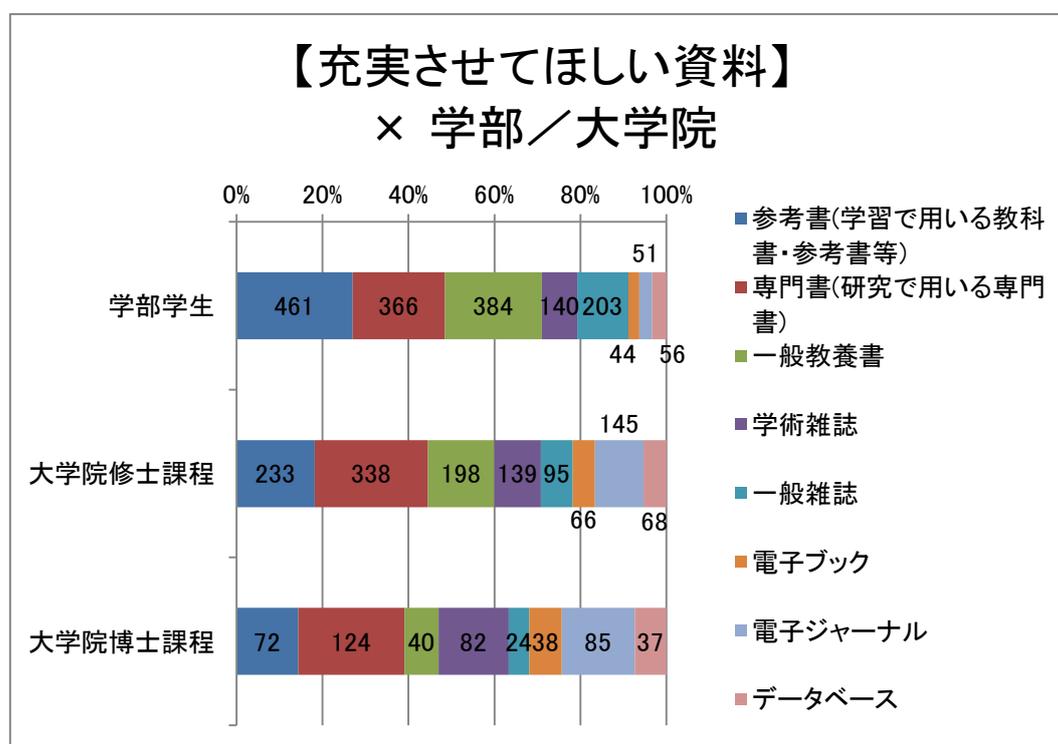


図 7.2-2 充実させてほしい資料×学部/大学院



7.3 設備について

提言概要	設備の改善について
学生の意見	<p>設備の改善に関する要求が合計 95 件寄せられました。主に以下の 4 点に関する要望が多くありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な室温の保持と換気の要求(同様の意見 53 件) ・携帯電話の電波改善要求 (同様の意見 12 件) ・床からの騒音に対する改善要求 (同様の意見 10 件) ・飲食ができるスペースの要求 (同様の意見 11 件)
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・夏は暑くて集中できなかった、もう少し冷房をしっかりとつけて欲しい。 ・(地下は特に) 換気が行き届かずに空気が悪い気がする。 ・地下は特に携帯電話の電波が通らないので、友達と連絡を取るために通るようにして欲しい。 ・足音が響いてうるさいので、床をカーペットにするなどして欲しい。 ・2、3階だけでも、あるいは飲むだけでもよいので、自由に飲食ができるスペースが欲しい。
現状分析	<p>図書館設備についての現状分析および図書館へのキャンパスミーティングにより得られた話をまとめると以下ようになります。</p> <p>地上の学習スペースは窓が全てガラス張りで熱が簡単に出入りするため空調を運転しても温度調節が行き届きにくくなっています。大学全体で節電に努力しているため空調の使用に制限はありますが、学生の要望があればその都度対応しているようです。設計上は地下でも空気が循環するようになっているようです。</p> <p>図書館は厚いコンクリートの壁で作られ地下にあるため、一部窓の近くなどを除いて、携帯電話の電波が通りにくくなっています。ただ、図書館は電話をするための場所ではないので、現状を維持しているようです。</p> <p>床が固いので普通に歩くだけでも足音が大きくなり響きます。カーペットにする案もあったそうですが、アレルギーの観点から取りやめとなったそうです。台車の使用には音が立たないように対処しているようです。</p> <p>以前はリフレッシュルームで飲食できましたが、現在はそれができなくなっています。これは、図書館は食事場所ではない、新図書館のリフレッシュルームは窓がないためにおいがこもる、新しい図書館なのできれいに使いたい等の理由があるそうです。しかし、土日で図書館に勉強しに来た時に昼食をとろうと思ったら、特に雨の日は周りに弁当を食べる場所がありません。</p>



学勢調査 2010 以前との比較	前回は施設に関する要望はなく、新図書館となった今回の学勢調査では自由記述に多くの意見が寄せられました。
提言	図書館を学習場所として利用する学生は多いため図書館の環境は学習の質に影響します。特に騒音や空調の問題は重要ですので、そのような設備に対策を施すことを提言します。また、全学での取り組みが必要となるかもしれませんが、図書館内もしくは周辺での飲食可能場所の設置も検討する必要があります。

7.4 すずかけ台図書館について

提言概要	すずかけ台図書館について
学生の意見	<p>すずかけ台図書館に蔵書を増やして欲しいという意見が 11 件ありました。</p> <p>また、すずかけ台図書館がすずかけ台地区の端に位置するため、立地場所に関する改善要求が 3 件ありました。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・すずかけの図書館も大岡山並みに本をそろえて欲しい。 ・取り寄せはできるが、実物を見て判断できない。 ・敷地のはずれにあるため使いにくい。 ・すずかけ門の近くに図書回収ボックスを置いて欲しい。
現状分析	<p>すずかけ台図書館は大岡山図書館に比べて蔵書数が少なくなっています。取り寄せはできるものの、取り寄せでは本の中身を見て借りる本を選ぶことができず、目的の本を見つけるのに手間がかかってしまうことは否めません。また、すずかけ台の図書館は敷地の端にあり、図書館を利用するのに時間がかかります。</p> <p>図書館へのキャンパスミーティングですずかけ台図書館について話を聞いたところ、大岡山とすずかけ台で同じ本を購入すると蔵書の種類が減ってしまうため、なるべく多くの本をそろえるため同じ本を置くことは避けているようです。また、すずかけ門近くにポストを設置するのは、管理や返却日の判断が難しくなる等の問題から難しいようです。</p>
学勢調査 2010 以前との比較	前回も今回と同様に、すずかけ台図書館の蔵書拡大要求と立地に関する意見が寄せられました。
提言	次回、すずかけ台図書館を建造する際には場所についてよく検討する必要があります。

